

公 評 日 3. 21

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこ			
○保護者評価実施期間	R6 年1月10日		～	R6 年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	8人
○従業員評価実施期間	R6 年1月10日		～	R6 年2月20日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年2月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
①	日々の活動プログラムが 固定化しないように工夫 している	こどもの興味関心に沿った ①活動提供をしたり、主体性や 対話を大切に活動提供 も提供できる様 意識的に 行っている	①5領域に沿って、本人支援 における支援プログラムに より計画的に幅広い経験や 深い学びの場を提供でき るようにしていきたい。
②	自立に向けて生活できる様 に、自己選択ができる 環境設定した支援の工夫 をしている。	②記録の視点を、こどもの成長 という視点をもつて 保つ者と、より共有でき るよう工夫している。	②職員一人ひとりの気づきを、 次の支援へとつなげていくことと、 保つ者や学校等とで、 共有理解を深めていきたい。
③	日頃からこどもの状況を保 つ者と共有し、こどもの発達 や課題について共通理解を 持っている。		

③ 送迎時の申し送りを
重視している事に加え、
HUGート等も介して
発達の状況や課題
について、共有する機会
を豊富に設けている

③ 地域との取り組みの中で、
お互いにやり取りしたり、
体験していく中で、生かされて
いると、感謝の気持ち
を育んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
①	父母会の活動力の支援や、 保つ者会等の開催が、働いて いる方が多いので、なかなか機会を もつていない状況。	① 保つ者同士の交流機会が なかなかもてない	① 保つ者支援として、 参加しやすい日曜日、時間帯、 内容など保つ者向けの取り組み も考えていきたい
②	非常災害の発生に備え、 定期的に避難訓練をしたり	② 各マニュアルに対して 保つ者に口頭での説明 のみ行っている	② 定期的に各々マニュアル 見直し、改善も 継続していきたい
③	地域と連携して取り組むため 各々のマニュアルに対する取り組み	③ 訓練実施において 見える化が不十分である	③ 訓練での、こども達の様子や 課題などの気づきを その都度保つ者に見え化し、 共有していきたい

を保つ者に同知、説明しながら、
発生を想定した訓練の取り組み、